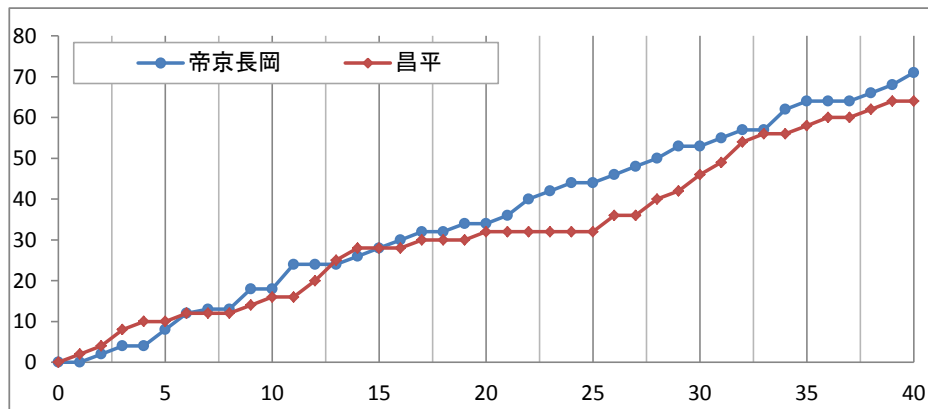


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 2回戦	帝京長岡 71	18 - 16	64	昌平
主審 甲斐 清	(新潟) ○	16 - 16	●	(埼玉)
副審 塚本 圭右		19 - 14		
		18 - 18		
		-		

No. 30c3 日時: 2013年7月30日(火) 13:20 会場: 別府アリーナ



帝京長岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	櫻井 涼	-	-	-	-	-
5	* 高田 大地 (C)	12	0	6	0	1
6	谷内 亮太	2	0	1	0	2
7	* 田村 大樹	29	2	11	1	0
8	* 山本 健太	4	0	2	0	3
9	庭野 太郎	6	0	2	2	2
10	* 長谷川 大聖	4	0	2	0	0
11	* 刘 子澍	0	0	0	0	0
12	平櫛 大樹	-	-	-	-	-
13	袁 権	-	-	-	-	-
14	桃井 一翔	10	1	3	1	0
15	大久保 琳司	4	0	2	0	0
コーチ	柴田 勲					
合計		71	3	29	4	8

昌平

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	松本 怜	-	-	-	-	-
5	西村 幸起	2	0	1	0	1
6	小池 優太	-	-	-	-	-
7	* 井上 匠 (C)	6	0	3	0	1
8	豎山 晃端	-	-	-	-	-
9	* 田村 敦哉	13	1	5	0	2
10	* 小無田 蓮	16	0	7	2	2
11	小竹 貴也	-	-	-	-	-
12	* 御嶽 祐之介	13	3	2	0	4
13	川合 祐太郎	-	-	-	-	-
14	石垣 裕貴	0	0	0	0	1
15	* 八木 翼	14	0	6	2	1
コーチ	畔川 秀雄					
合計		64	4	24	4	12

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド両チームともマンツーマンDefで試合が始まる。ともに大きなセンタープレイヤーがおり、インサイドのDefは固い。帝京長岡は#7が速攻からのレイアップ、2Pジャンプシュートと連続得点、昌平も#9のミドルシュートや#15のローポストからの連続得点とお互い一歩も譲らない。ここから帝京長岡は#10が2P、2P、3Pと得点をし、18-16と帝京長岡2点リードで第1ピリオドが終わる。第2ピリオドは帝京長岡#9のドライブでファウルを誘いフリースロー成功後、前からプレッシャーをかけ5秒バイオレーションを誘発しペースを奪う。8点差をつけられた昌平だがここから#12が3Pシュート2本成功、#15もローポストからの得点で同点に追いつく。その後帝京長岡は#14のドライブインやジャンプシュートで得点、昌平は#15のOffリバウンドからのシュートで得点し、34-32の帝京長岡2点リードで前半終了。

第3ピリオドは出足から帝京長岡がペースを握る。固いDefから#7が2連続で速攻を決め、一方昌平は外角からのシュートが連続で落ち、12点差がつく。帝京長岡はDefリバウンドから速いトランジションの展開に持ち込むが昌平も#12のパスカットからのレイアップや#10のジャンプシュートで反撃、最大14点差を7点差まで詰めて第3ピリオド終了。第4ピリオドは昌平が3-2ゾーンDefにシステムを変え点差を一気に詰める。#10の連続2Pシュートや#9の3Pシュートで1点差となり、このまま昌平のペースが続くかに思えたが、ここで帝京長岡#7が冷静に3Pシュートを沈め、昌平に傾きかけた流れを引き戻す。その後昌平も#7のドライブからの得点で反撃するが、帝京長岡#7がゾーンの隙間からのジャンプシュートをしっかり決め、点差が詰まらないまま試合終了。両校ともDefのしっかりした素晴らしいゲームだった。

記者 津野 賢一郎 (所属) 大分県バスケットボール協会